

東胆振・日高で初の「緩和ケア病棟」を開設 内科・リハビリテーションの基幹病院



体重を免荷した歩行訓練



リハビリロボットスーツを利用した歩行訓練



ドライブシュミレーターを利用したリハビリ訓練



緩和ケア病棟の病室(個室)



音楽療法の風景



理事長・院長 橋本 洋一

1980年札幌医科大学医学部卒業。同年北海道大学医学部附属病院脳神経外科。82年旭川赤十字病院脳神経外科。83年北大医学部附属病院脳神経外科勤務。88年北海道大学医学部大学院卒業。89年苫小牧東病院開設。北海道医師会常任理事。北海道病院協会常務理事・日胆支部理事。日本リハビリテーション病院・施設協会常務理事。日本リハビリテーション医学会専門医。日本脳卒中学会専門医。日本老年医学会指導医。日本糖尿病学会専門医。日本感染症学会専門医等。医学博士。

苫小牧東病院は、1989年の開院以来、東胆振地域の内科・リハビリテーション基幹病院として、地域医療に大きな役割を果たしている。一般(急性期)病棟、回復期リハビリテーション病棟、緩和ケア病棟、医療養病棟の6病棟。合計260床を抱え、病棟ごとに異なった機能を持たせ、患者の病態に合わせた治療体制を構築している。

中でも回復期リハビリテーション病棟は、2病棟104床。リハビリスタッフは100名体制で、より質の高いリハビリ提供に努めており、特色のあるリハビリとして、「歩行アシスト」「ロボットスーツHAL」「上肢用ロボット型運動訓練装置ReoGo」などロボティクスの導入も積極的に行っている。

また一般病棟でもリハビリを提供。脳卒中後遺症の手足のつっぱり

にお困りの方へ向けたボツリヌス療法リハビリやrTMS療法、呼吸疾患でお悩みの方へ向けた呼吸リハビリ、安全に食事を続けるための摂食嚥下リハビリ、パーキンソン病のリハビリなど短期集中リハビリ入院にも力を入れている。

緩和ケア病棟(全室個室15床)は、がんの痛みや、心のつらさなどが少しでも緩和されることを目的とし、医師をはじめ看護師らスタッフ及びボランティアによるチーム医療の提供に加え、音楽療法も導入している。

2025年4月に「訪問看護リハビリステーション和來る(わくる)」を開設。看護とリハビリ機能を合わせた質の高い医療を自宅で受けることができる。

橋本洋一理事長・院長は「これから地域医療の発展に力を注ぎ、地域の中で安心して暮らせるよう、全力で取り組んでいきたい」と話している。

社会医療法人平成醫塾 **苫小牧東病院**

☎(0144)55-8811



苫小牧市明野新町5丁目1番30号

←ホームページはこちらから

内科・リハビリテーション科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・脳神経内科・リウマチ科・放射線科・ペインクリニック内科・緩和ケア内科・麻酔科

診療時間／
月～金曜／9:00～16:00
休診日／土・日・祝日・年末年始
※健康診断は予約制です。

